

# hgu\_LAB. MAGAZINE

April 2016

vol.

# 001

## SPEAKER

Mizuki Takamatsu



*Bushi fighters*  
fight with swords,  
but *benshi fighters*  
fight with words.

## Mizuki Takamatsu

高松 瑞樹

北海学園大学 人文学部 2部

英米文化学科 2年

北海道札幌月寒高等学校出身

2015年11月に和歌山県の高野山で開催された「第60回文部科学大臣杯全国青年弁論大会」で優良賞（3位）を受賞するなど、弁論大会での受賞歴は多数。今後は大会出場のみならず、弁論にまつわるさまざまな情報を提供するウェブサイトの公開など、弁論人口の増加をめざした取り組みも行っていく予定。

# 「弁士」は、英語で「Speaker」。 7分間、言葉だけで勝負します。

知らないことを知るの、なんだか楽しい。そこに自分の思いを添えて、早く誰かに伝えたい。聞いて！聞いて！」と。

そんな根源的な振る舞いを、パフォーマンスの域にまで高めたのが「弁論」なのかもしれません。高松瑞樹さんは、弁論界の最高峰「全国青年弁論大会」で優良賞（3位）に輝くなど、全国区で活躍する「弁士」です。高松さんの弁論トーク、弁論を知らない人ほど、きっと楽しめます。さあ、聞いて！聞いて！

## オタクから弁士へ

——「弁論」は未知の世界という人も多いと思います。まずは話し手からみた弁論の魅力を教えてください。弁論は1人の持ち時間が7分なんです。壇上に立って、礼をして、話をし、最後にまた礼をして下がる。この7分間、くしゃみもしてはいけないようなシーンとした空間の中で、全員が私だけを見て、話を聞いてくれる。それがもう、最高の生きがいなんです（笑）

——始めたのはいつごろから？

高校からです。「話し方研究部」というちょっと変わった名前だったんですが、要するに弁論部に入って。小さなころから、なんとなく興味はあったんですね。政治家さんが話しているところをテレビで見ながら、マイクのある演壇に立ってみたいと思っていました。

——では、生徒会なども？

中学校では生徒会書記もやりました。でも、見た目も中身もかなりのオタクでしたね。高校時代も、弁論部と写真部の部長をやりながらオタクショップへ通う2次元好きという感じで。それが、2年生のときに「ザ・バックホーン」というバンドのライブに行き、「やっぱり3次元の人間のほうがいい！」と思って今に至ります（笑）

——なかなかの振り切れぶりですね（笑）。弁論の話を続けましょう。「7分間」はどの大会も共通？

はい、公式ルールです。6分から7分まで。7分を超えたら減点です。満点は100点で、内容を評価する「論旨」が60点分、話し方を評価する「表現」が40点分。複数の審査員が点数をつけ、平均点で順位が決まります。

——「論旨」というのは？

大会によってテーマが決まっていたり、まったく自由な場合もありますが、論旨の要素は大きく2つあります。1つは原発や憲法などの社会問題を扱う「ソーシャル」。もう1つが、自分の実体験を通じて人間の生き方などを哲学的に話す「バリュー」。私はソーシャル7割、バリュー3割というスタイルをめざしています。

——ミックスするメリットとは？

ソーシャルは審査員が採点しやすいと思うんです。たとえば環境問題なら、こういう理由があるから資源は大切にしなければならない、というロジックがしっかりしていれば高得点につながります。ただ、感動は生まれづらいですね。バリューだと、自分の母が病気になった経験から得た学びなどの話は心に響きます。両者のいいところ取りで、内容に深みが出るんです。

——昨年11月の「全国青年弁論大会」で3位になったときの原稿も、そんなスタイルだったんですね？  
そうですね。誰もがスマホやパソコンを使う現代ですが、それらに記憶を託しすぎるのはいかなものかというソーシャルな内容に、記憶が人にとってどれだけ大切であるかというバリューの要素も加えました。

## めざすのは、 あつという間の7分間

——さらに「表現」、つまり話し方も大切だと。

はい、声や表情ですね。これらがしっかりしていないと、どんなに素晴らしい文章を書いても絶対に賞はいただけないので、普段から腹式呼吸の発声練習をしています。本番前には筋肉痛になるほどトレーニングをしますね。弁論は「7分間の芸術作品」ともいわれます。7分というのは、つまらなければ長く感じる一方、本当にすごい人だと目が離せなくなって、「え、もう終わり？」となる時間です。そういう人は絶対に賞に入りますね。

——「論旨」と「表現」が絶妙に絡み合うと、感動の涙も誘えそうですね。

本当にいい話ができれば、でも、賞が欲しくて話を盛ってしまう人もいたりして。「泣き落とし原稿」というんですが、そういうのは審査員も見抜いてしまう。本気で言っていると、やっぱりグッと心に響きますね。

——高松さんもその辺りを狙っていくんですか？

私はあまり、お涙頂戴系は好きではないんですが、北方領土問題について「島を返してもらうためには」という話をしたときは、島民の方もいらした会場がものすごく沸きました。「そうだ！」みたいな感じで。

——会場の雰囲気でも話し方のトーンも変えたり？

それが難しいんです。私たちは原稿を見なくても話せるように何度も練習をして本番に臨みます。逆に言えば、気をつけないと口が自動的に動いてしまう。それを会場の空気に合わせてコントロールできたら完璧ですね。

——間違ってしまうことも？

一度でも噛んだら大失敗という感じです。弁論は音楽に似ています。吹奏楽部の友人から、本番で1音でも外してしまうと、悔しくて泣いてしまうと聞きました。弁論も同じで、この前もすごく完璧な子がいたんですが、1か所噛んでしまったようで。本人だけがわかるようなレベルなんですけど、それでも泣き崩れていました。

——戦い、なんですね。

そうですね。弁論をする人のことを「弁士」といいます。武士は刀で戦うけれど、弁士は言葉で戦うんです。スライドや道具なども一切使わず、本当に言葉だけで。

——ほかの弁士たちとの交流は？

ありますよ。集まると、即興弁論ごっこが始まったりします（笑）。たとえば、その場にお菓子や飲み物があると、パッケージに書いてある文言を感情を込めて読むんです。「時々、黒い粒が入っていますが、それは、ジャガイモの、皮です」とか。「よく振って、お飲み、ください」とか。それでお互いに「今のは70点」と点数を付け合ったり。







SPEAKER | MIZUKI TAKAMATSU  
HOKKAI-GAKUEN UNIVERSITY

## LINEに戸惑う弁士

— 原稿の準備はどれくらいの時間をかけて？

下準備も含めれば、1本の原稿を書き上げるのに半年から1年ほどかかります。ネタ帳にキーワードを書き溜めていって、ある瞬間、「キター！」と思ったら集中して一晩でとりあえず最後まで書きます。それから何度も修正を重ね、やっと1本が出来上がる感じですね。

— 書き溜めるネタはどうやって集めるんですか。

新聞やニュース、インターネット、そして何より本ですね。本屋さんが好きで、とくに札幌駅の紀伊国屋書店が大好きなんです。行けば4、5時間はいます。社会学系からマンガまで全部のコーナーを回ります。目的の本を買うというより、新しい出会いを求めて行く感じですね。

— そうやってインプットしたことを整理して、原稿として組み上げていくんですね。

そうです。しっかりと構築する文章ばかり書いてきたので、最初はLINEなどに戸惑いました（笑）。とくにグループトークだと、しっかり言葉を選ぼうと考えているうちに会話が流れていっちゃうんです。

— もしも誰かに告白するとすれば、大変そうですね。

今のところないですけど、たしかに、原因と結論とかを順序立てて言ってしまうかも（笑）

## 楽譜のように原稿を

— 原稿はパソコンで？

はい、大学に入ってから。高校時代は手書きでした。先生に見てもらいながら、10回、20回と書き直していたんですが、さすがに時間との兼ね合いもあり、今はワードで書いています。でも、A4の紙に小さい文字で出力するのではなく、必ず400字詰め原稿用紙に出力しています。これは11月の大会の原稿ですね。

— すごい！ いろいろと書き込まれていますね。

原稿用紙に出力することで、記号を書き込みやすいんです。弁論は音楽に似ていると言いましたが、原稿は私にとっての楽譜です。「強く」などの音楽記号みたいなものを、自分なりに考えて書いています。

— オリジナルなんですか。文字の横に入れているカラフルな点にはどんな意味が？

これは母音で色分けをしているんです。アが赤、イが青という感じで5色。たとえば「メディア」だったら、母音だけで読むと「エ・イ・ア」なので、オレンジ、青、赤という具合です。日本語は母音が命。1音1音を噛まずにはっきり発音するために、見るだけで口の動きがわかるようにしています。たとえば、この「私の父は叫びました」という部分は、青（イ）が多いですね。イは口を横に広げて発音します。だからこの部分は、横に広げた形をキープしながら話すスムーズで、それを視覚的にわかりやすくしているんです。

— なるほど。ほかの人の原稿もこんな感じ？

大事なところに赤線を引いたり、噛みやすいところに印をつけたりしている人はいますが、ここまで色や記号の多い原稿は見たことがないですね。

— 原稿をはっきり読むという意味では、将来アナウンサーをめざしたくなりませんか？

そういう人もいますね。ただ、滑舌などは共通していますが、感情の入れ方は真逆です。とくにニュース原稿などは、感情を排して読むことが大切だと思うので。マスコミには興味がありますが、もしも本格的にめざすのなら、書くのも好きなので、アナウンサーというよりは記者や広告関係かなと、今は思っています。

## 「く・らっ・しゅ」を乗り越えて

— ところで、高松さんは英米文化学科ということもあり、英語の弁論にも挑戦しているんですね？

はい、大学に入ってからスピーチコンテストに3回出ました。書いて、覚えて、話す。これらは日本語でも英

語でも同じだろうと思っていたんですが、まったく勝手が違いました。日本語では文章のドラマチックな組み立てが求められるのに対し、英語では何よりもロジックが大切な印象です。発音の面も、英語ではあまり母音を強調しないので、日本語とは反対なんです。すごく平坦な印象で、感情を込めるのが難しくてショックでした。たとえば、この「私の父も壊れてしまったのです」という部分を英語にすると、「My father crashed」になります。日本語では、感情を込めたい「こ・わ・れ・て」の部分を1音1音、母音を強調しながら発音できます。でも、英語では「く・らっ・しゅ」とは言えないんですよ。それでも、ある英語のコンテストで、日本語的なエモーショナルな感じを表現してみたつもりです。それがけっこうウケまして、賞をいただきました。発音はまだですが、新しい風を吹かせられたかなと（笑）

— 英語には入学前から親しんでいたんですか？

いいえ、受験英語だけです。これからの時代、ますます大切になる英語を極めてみたいと思って、この学科に入学しました。英語を勉強することで、日本語の素晴らしさもあらためて実感しているところです。

— では、英語で原稿を書くのはかなり大変なのは？

はい、日常会話もまともにできないレベルだったので。原稿を書くうえでいちばんお世話になっているのは、ジェレミ・ブシャー先生です。先生は歴史、政治、文化などの知識も豊富なので、文法だけではなく、内容面のアドバイスもしてくれます。というか、論破されまくります（笑）。自分の考えを鍛えてくれる、ありがたい存在ですね。先生のサポートを受けながら、今年は英語も日本語も、たくさんの大会に出たいと思っています。

— 本当に弁論が好きなんですね。

最初に話したとおり、生きがいです（笑）。今後、就職したら大会に出られなくなるかもしれませんが、文章を書いて話すという行為はすべて弁論だと思います。日常生活のなかで、一生をかけて磨いていきたいですね。

— でも、大会に出ないと、みんなが聞いてくれる至福の7分間はなくなってしまいますね。

それがいちばん怖いんですよ。今、高校の英語の教職課程をとっているんですが、教員になれば生徒の前で話せますよね。しかも、たっぷり50分間（笑）

## 英語でランチ、トピックは Controversial

— おふたりのつながりは？

高松 私は1年次にジェレミ先生の授業を受けていて、その当時からずっとランチタイム英会話でもお世話になっているんですね。

ブシャー そうそう。毎週1、2回、私の研究室でランチを食べながら英会話に親しむという企画。ミスキちゃんもレギュラーで来ていますね。

高松 はい。私はその場で弁論の原稿を見もらったり、発音のチェックをしてもらったりして。高校までは担任や部活の先生がいますよね。大学の先生とはそういう関係性は築けないのかなと思っていましたが、私にはジェレミ先生がいてくれたという感じです。

— 先生から見て、高松さんはどんな学生ですか？

ブシャー 自分で学ぼうとする姿勢があります。英語に対する興味も強く、それを私がアシストする感じ。大学生として望ましいスタイルだと思います。それと、スピーチでは簡単なテーマには興味がないみたいです。

高松 環境、教育、健康とか、ありがちなのはたしかにあまり……。歴史的で複雑なトピックが好きです（笑）

ブシャー Controversial(論議を呼ぶような)ね。

高松 靖国問題だったり。

ブシャー Research that challenges assumptions(人々の思い込みを切り込むような発表テーマ)で、深い内容だね。

高松 だからこそ、先生には本当にお世話になっています。話していると自分の視野の狭さがよくわかりますし、ロジックの組み立て方やクリティカル・シンキング(批評的思考)についても学んでいます。

ブシャー という感じで、チャレンジする学生ですね。この先、20年、30年後には、日本や北海道が今は違う社会環境になっていると思います。1つの仕事だけで一生を終えることも少なくなるでしょう。今までの当たり前が当たり前じゃなくなれば、不安にもなりますが、だからこそ考えてチャレンジすることが大切ですよ。

高松 いつも先生とは英語で話しているので、日本語を話す先生を見るのは新鮮な感じですよ（笑）

ブシャー No bad(なかなか)でしょ（笑）。ところで今日は原稿について何か聞きたいことはある？

高松 これからのことですね。I want to attend high-level national contest.

ブシャー You wanna continue contest? OK.

高松 Both Japanese and English. So would you help me?

ブシャー もちろん！

## My Favorite Teacher

Jérémie Bouchard

ジェレミ・ブシャー  
人文学部  
英米文化学科  
講師



# My Favorite Shop



京王プラザホテル札幌  
ブッフェ&パーティコート  
グラスシーズズ

札幌市中央区北5条西7丁目2-1  
011-271-3203  
www.keioplaza-sapporo.co.jp

ランチブッフェ 2,400円 (2016年1月現在)

## 高級感のある店内で食べ放題…… ここに住んでもいいですか？

弁論かバイキングのことしか考えていないぐらい、昔からバイキングが好きです。すごく食べるので、食べ放題じゃないと足りないんですよね(笑)。「ブッフェ」や「ビュッフェ」と呼ぶのが今では主流かもしれませんが、個人的には「バイキング」のほうが豪快な感じでいいなと。本屋さんにも住みたいですが、バイキングをやっているホテルやレストランが家だったら、どんなに幸せなことか。アルバイトをすれば、書籍代かバイキング代で消えていきます。だいたい母と一緒にですね。2人で勝手に批評をしながら楽しんでいます。とくにホテルのバイキングが好きで、札幌市内で味わっていないところはないはず。京王プラザは高級感のある雰囲気No.1で、本当にステキですね。難しいのはデザートに移るタイミング。ごはんを食べすぎちゃうとデザートが入らなくなるし、だからといってごはんが足りないと、デザートの後にもたごはんを食べたくなくなっちゃうという……。デザート問題は、私の永遠のテーマかもしれません。

# My Favorite Things



**イキルサイノウ**  
THE BACK HORN  
ビクターエンタテインメント

ロックが好きで、もっとも影響を受けたバンドはザ・バックホーンです。辛いことがあったり、受験に苦しんだりしたとき、彼らの音楽に救われてきました。高校時代にいちばん聴いたのは、この3枚目のアルバム。歌詞の日本語がとても美しく、哲学的なんです。



**富江、潰談**  
伊藤 潤二  
アサヒコミック刊 2011年/2013年

ホラーマンガ全般が好きです。出会いは高校1年のとき。これはなんだろうと思いつつ、なぜか買ってみたい。最初は恐る恐るでしたが、今では耐性もつきました(笑)。伊藤潤二の作品は絵が怖いだけでなく、ストーリーが天才的で、人間の深い部分に触られる内容です。



**メガネ**  
GUCCI

小学6年生から急激に目が悪くなって、基本的にはメガネをかけて暮らしています。弁論など人前に立つときだけコンタクトですね。これは高校時代に買ったもの。特徴的なものがほしくて、「お店でいちばん大きいフレームはどれですか?」と聞いて出てきたのがこれでした。



**概説 西洋哲学史**  
峰島 旭雄  
ミネルヴァ書房刊 1989年

古代ギリシャから現代まで、哲学の歴史が章ごとにまとまっています。たくさんいる哲学者の思想を幅広く、しかもそれなりに深く知りたくて、この本を選びました。弁論では哲学者などの言葉を引用すると一気に説得力が増すので、幅広い教養は大事な要素だと思っています。



**ワンピース**  
axes femme

ファッションにはほとんど興味がなくて、基本的には着られればいいという感じです。服屋さんにも1分しかいられません。でも、札幌駅アピアのアクシーズだけは10分以上いられます(笑)。アンティークのお人形さんみたいに凝った柄の服は、見ていて飽きないですね。



**檸檬**  
梶井 基次郎  
新潮文庫刊 2003年

これは短編小説です。たしか高校2年生の国語の教科書に載っていたんですよ。華やかなものよりも裏路地の風景に惹かれる感じとか、主人公の心理、行動、すべてに共感しすぎちゃって、何回読んだかわかりません。同じ作者の『櫻の樹の下には』という作品も好きですね。



**キモかわ文具**  
VARIOUS

自分で持ってきてなんですが、このボールペン、大丈夫ですか(笑)。こういうキモ系の文具が好きなんです。私の中ではかわいいんです。みんなには不評で、使っていると怒られます。だからあまり使いません。まあ、本当はインクがもったいないからなんですけど(笑)



**ヒヨコいろいろ**  
VARIOUS

あまり動物は得意ではないんですが、ヒヨコだけは別格。ヒヨコほどかわいいものはありません。黄色くてつぶらな瞳、たまりません。とはいえ、生きてるヒヨコではなく、ヒヨコグッズのことです。弁論の原稿にもヒヨコを描いてしまっています。見ているだけで安心するんですよ。



**盾**  
全国青年弁論大会

この大会はもっとも歴史があり、弁士の大きな目標。3位(優良賞)をいただき、とてもうれしかったです。じつは道内の大学には弁論サークルがありません。慶応や明治、東大など道外では活発なんです。日本語を書いて話せれば誰でも始められるので、ぜひやってみませんか!